

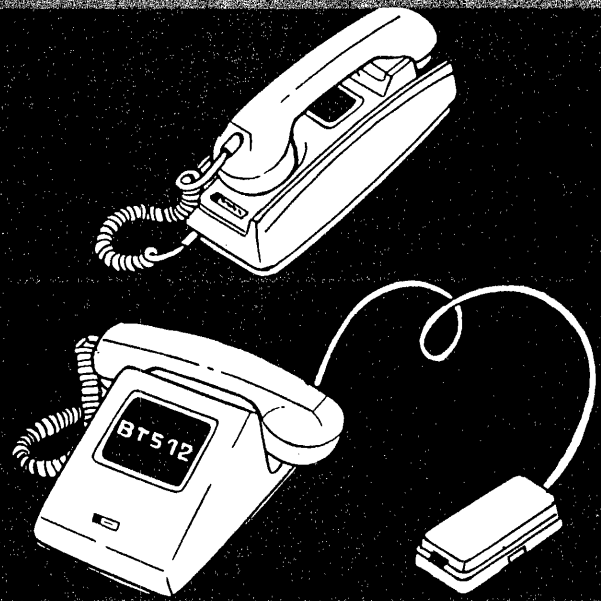
Toshiba

東芝インターホン子機取扱説明書

壁掛形

卓上形

BT511・BT512

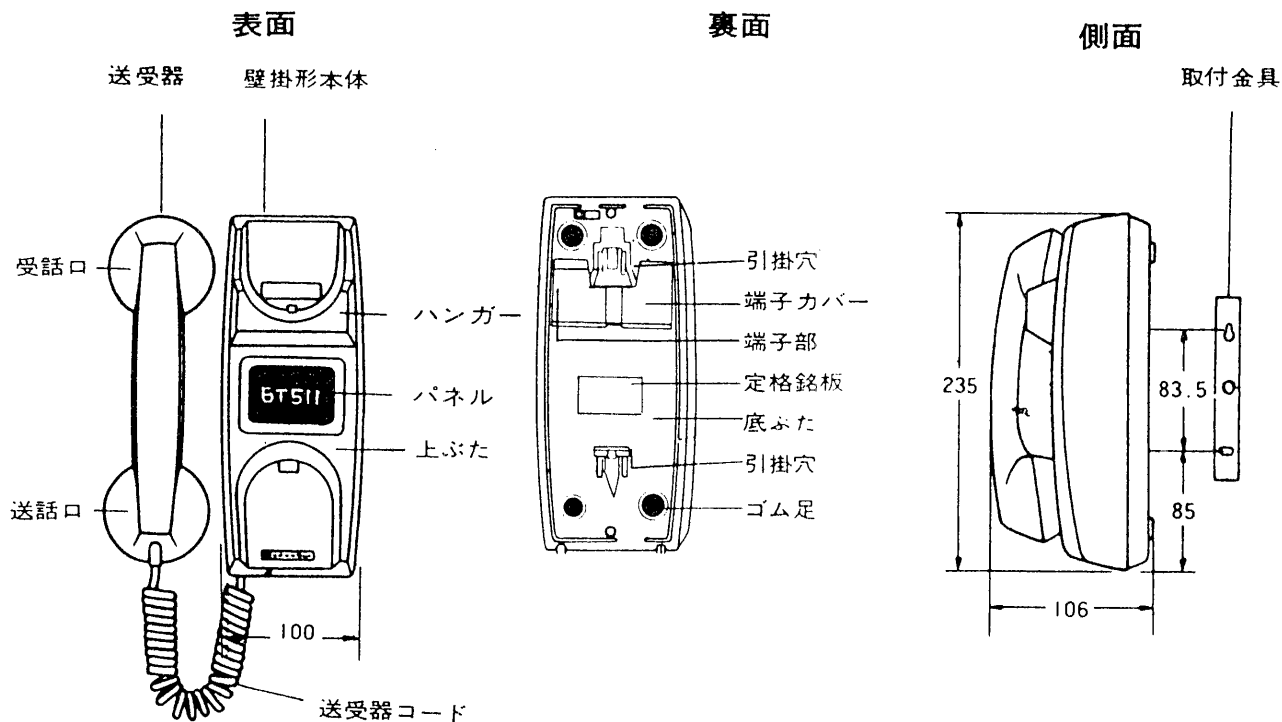


- お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
- お読みになったあと必ず保存してください。

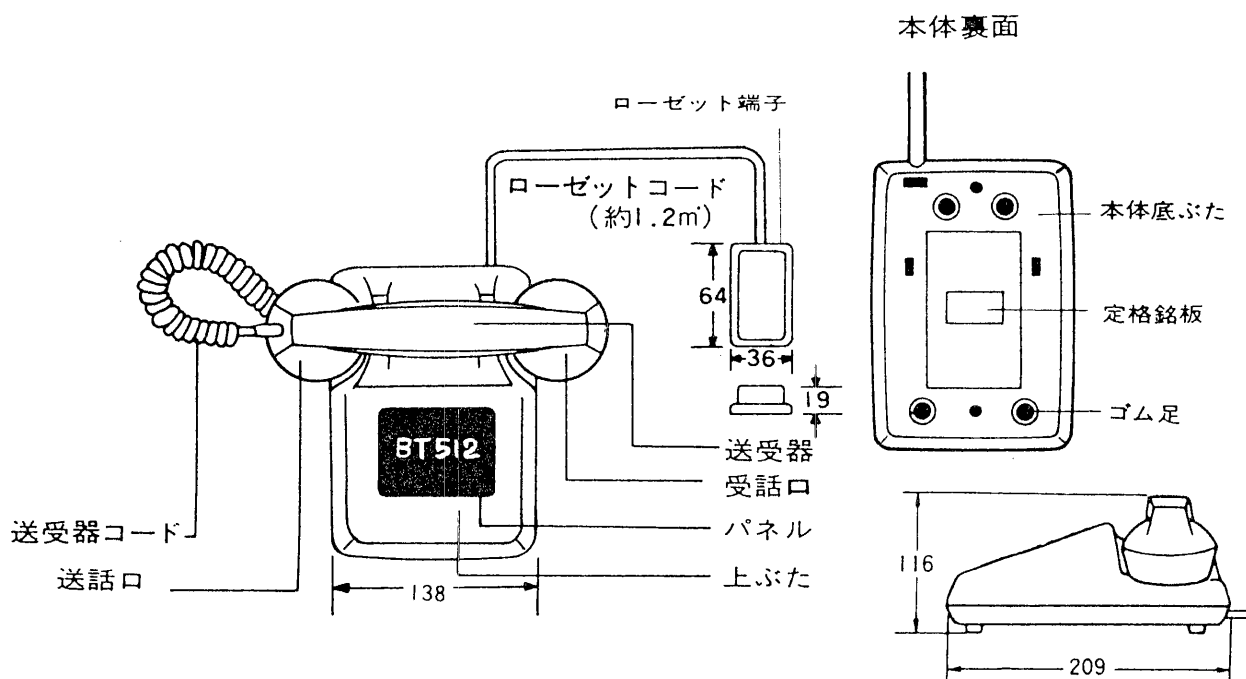
このたびは東芝インターホンをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。お求めのインターホンを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

各部のなまえと大きさ(mm)

■壁掛形子機 BT511



■卓上形子機 BT512



組み合わせて使用できる機器

- システムテレホン親機
- その他

BT410, MO20C, MO30C

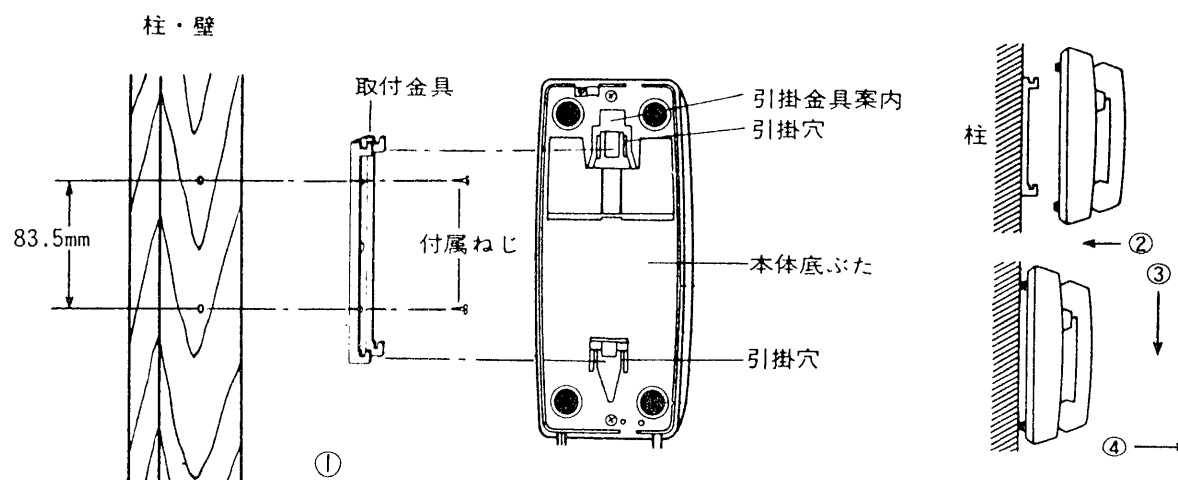
カタログ、取扱説明書にこの子機と組み合わせて使用できるように明記してある親機

取り付けかた

■ 壁掛形子機(BT511)の取り付け

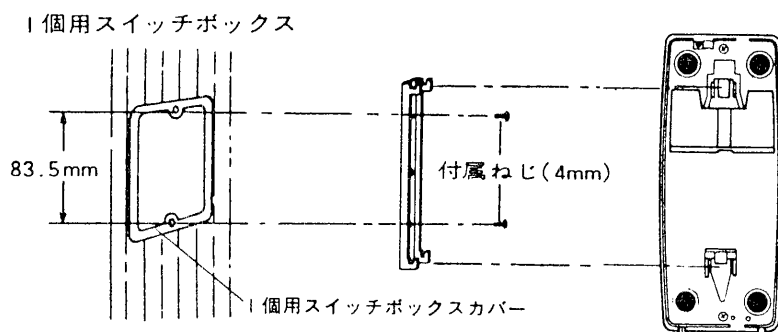
● 柱や壁に取り付けるとき

- ① 取付金具を付属の木ねじ(丸木ねじ $\phi 3.5 \times 20\text{mm}$) 2本で柱や壁に取り付けます。
- ② 本体の底ぶたの引掛穴に取付金具の先端を入れて
- ③ 下方へ引いてください。
- ④ 正しく取り付けられているか手前に引いてお確かめください。

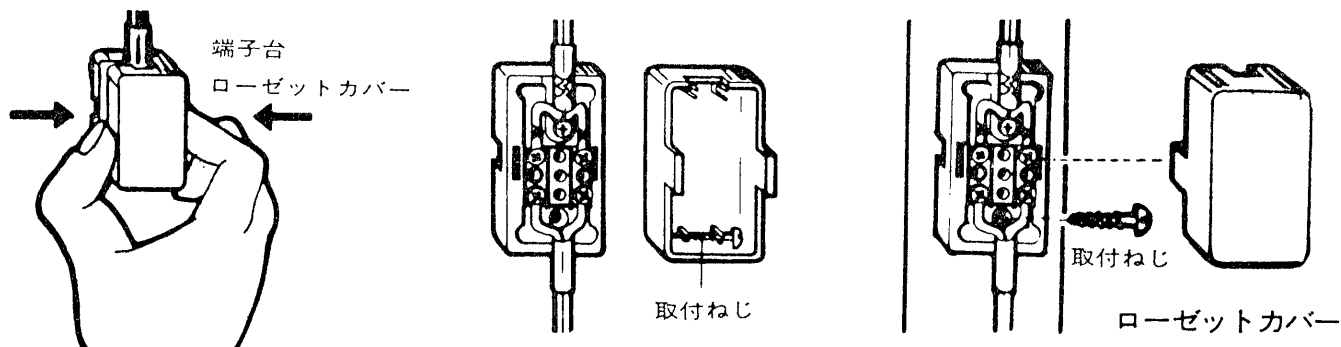


● 1個用スイッチボックスに取り付けるとき

- ① 取付金具を付属のねじ(皿小ねじ $M4 \times 30\text{mm}$) 2本で、すでに取り付けられている1個用スイッチボックスカバーに取り付けます。
- ② 以後は、上記の柱や壁に取り付ける手順と同じです。



■卓上形子機 (BT512) はそのまま卓上に置いてご使用できますがローゼット端子は必ず柱、壁、床などに取り付けてください。



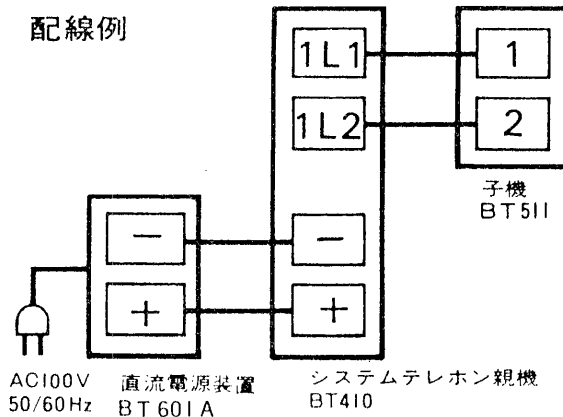
- ①ローゼットカバーを“→”印の方向に押して端子台からはずします。
- ②ローゼットカバーの内側に取付ねじ(丸木ねじφ3.1×20mm)が収納されています。
- ③取り付けねじで端子台を取り付けます。

配線が終わりましたらローゼットカバーをかぶせてください。

配線のしかた

■システムテレホン親機 BT410に接続するとき

- 親機端子頭数字の同一番号より子機へ配線します。
- 親機端子のL1 (1L1～10L1) は子機端子の 1 または L1 に、親機端子のL2 (1L2～10L2) は子機端子の 2 または L2 に接続します。
- 親機と子機の配線数は2線ですが極性がありますので必ず上記のように接続してください。極性を間違えますと親機の呼出音が鳴り続けます。



■その他の親機をご使用のときはその取扱説明書をご参照ください。

使いかた

■親機を呼び出して通話するとき

- この子機の送受器をとりあげると、親機の呼出音が鳴ります。そのとき受話口から親機を呼び出している信号音が小さく聞こえます。
- 親機が送受器をとりあげると信号音がとまります。
- 親機から応答がありましたら電話と同じ要領でお話してください。

■親機から呼び出しを受けたとき

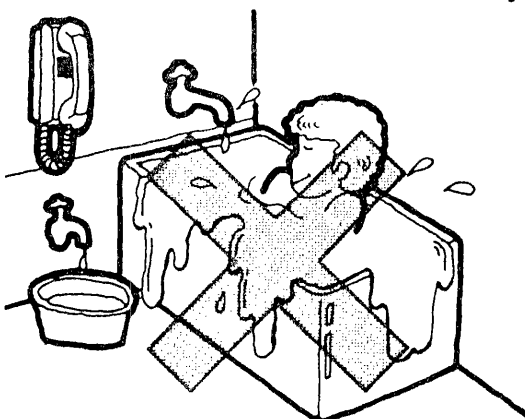
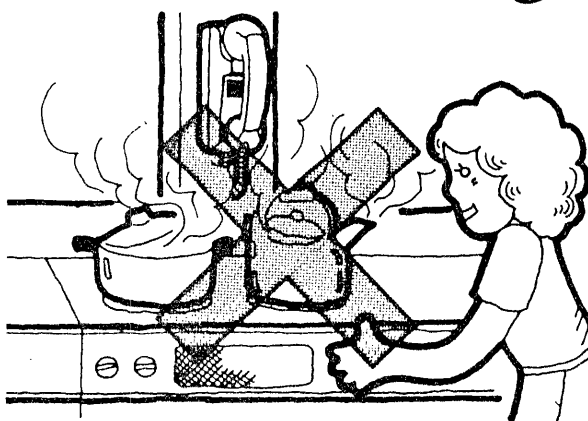
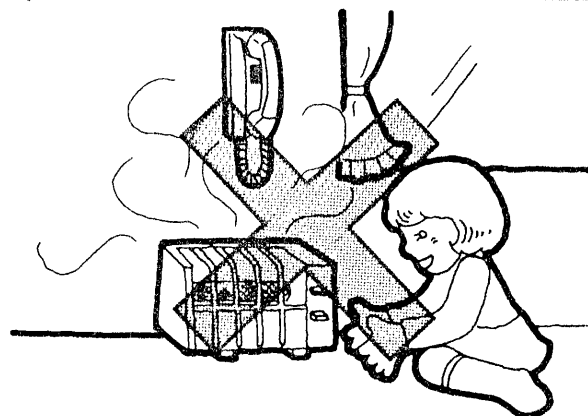
- 呼出音が鳴りましたら送受器をとってそのままお話してください。
- 音声で呼び出された場合も送受器をとってそのままお話してください。

ご注意とお願い

このインターホンは屋内専用で $-10^{\circ}\text{C} \sim +50^{\circ}\text{C}$ の範囲で使用するよう設計してあります。取り付けの際はご注意ください。

たとえば

- 電気・ガス・石油ストーブの真上やその付近
 - 直射日光のあたる場所
 - 製氷倉庫など -10°C 以下になる場所
 - 風呂場など特に湿度の高い所
 - 有害ガスやいろいろなほこりが特に多い所
 - 水や薬品がかかるおそれのある場所
- などには取り付けないでください。



お手入れのしかた

- 本体や送受器はやわらかな布でからぶきしてください。
- 汚れがひどいときは、シリコンワックスか、石けん水を浸した布をよくしぼってからふいてください。
- ガソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品でふかないでください。
表面がきたなくなります。

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときはお使いになるのをやめ、親機かまたは直流電源装置の電源プラグをコンセントから抜いて、お取り付けの工事店かお買いあげの販売店またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。

なおご相談されるときは、パネル部に表示してあります形名(B T 511, B T 512)をお忘れなくお知らせください。

■修理を依頼される前につぎの点検をしてください。

■呼び出しも通話もできない。

- 親機または直流電源装置の電源プラグがコンセントから抜けていたり、接触が悪くなっていますか。
- 親機や子機の配線が、端子からはずれていませんか。

■呼出音が鳴らないとき

- 送受器がはずれていませんか。
- 送受器が正しくかけてありますか。

特 長

このインターホン是一般家庭、事務所、学校、ホテル、旅館などで親機と接続して使用する電話形同時通話インターホン子機でつぎのような特長を持っています。

- 接続する親機の機種により、親機から呼出音のほかに音声で呼び出しをうけることができます。
- 送受器をとりあげるだけで親機を呼び出すことができます。
- 親機との間の配線は2線式ですから配線工事が簡単です。

仕 様

通 話 方 式 電話形同時通話
 消 費 電 流 DC40mA, DC10V (通話時)
 配 線 本 数 2 線 (有極性)

通 達 距 離

線 種	公称断面積	0.3mm ²	0.5mm ²	0.75mm ²	1.25mm ²
	(本/mm) より線	12/0.18	20/0.18	30/0.18	50/0.18
	(mm) 単心線	0.65	0.8	1.0	1.2
距 離 (メートル)	システムテレホン 親機BT410に 接続のとき	150	200	300	450
	1局用テレホン親機BT407, BT408に接続のとき	450	650	1,000	1,400
	その他の親機に接続のとき	親機取扱説明書による			

子機を並列に接続して使用するときは上記の距離を、並列に接続する子機の総合台数で割った値が通達距離となります。

使用周囲温度

−10℃～+50℃

設 置 場 所

屋内専用

重 量

壁掛形子機BT511 720g

卓上形子機BT512 810g

外 観 色 調

ケース：オフホワイト

外 観 材 質

パネル：黒

外 観 材 質

プラスチック (ABS樹脂)



東芝ライテック株式会社

住宅機器事業部

〒140-8660 東京都品川区南品川 2-2-13 (南品川 JNビル)
TEL (03)5463-8777

工事店様へ

工事が終了しましたらこの取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

(08524)C